

第13期 第1回国立市ごみ問題審議会 議事録

日 時 令和4年（2022年）6月28日（火）午後2時00分～午後3時30分
場 所 国立市役所3階 第4会議室
出席者 山谷会長、山崎副会長、内海委員、北委員、北村委員、楠田委員、高麗委員、田中委員、
長嶋委員、山岸委員（委員は50音順）
事務局 黒澤生活環境部長、清水ごみ減量課長、豊島清掃係長、河内清掃係主査、新清掃係主任

【議事要旨】

1. 市長挨拶

2. 委嘱

3. 事務局職員紹介

4. 委員紹介

5. 会長・副会長の選出

委員の互選により、山谷委員が会長、山崎委員が副会長に選出された。

6. 諮問

以下の件について、市長から会長に諮問した。

- ・国立市循環型社会形成推進基本計画に基づく進捗状況の評価について

7. 審議会の運営について

原則として会議は公開することとし、傍聴を認めることとした。

また、原則として発言委員名を明らかにした会議録（要点筆記）を作成し、市ホームページで公開することとした。

8. 今後のスケジュール（案）について

資料に基づき、事務局から今後のスケジュール（案）について説明した。

- ・令和4年度は国立市循環型社会形成推進基本計画に基づく令和3年度の進捗状況の評価について全6回程度で審議する。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況等によっては書面会議とする可能性がある。
- ・オンラインによる審議会の参加も可能とする。

【山谷会長】今期から初めて委員になる方もいるため、施設見学について説明をお願いします。

【事務局】具体的な日程は未定ですが、国立市内の中間処理施設（国立市環境センター）と、稲城市にある焼却施設（クリーンセンター多摩川）を見学先として検討しています。

9. 国立市のごみの現状と課題について

資料に基づき、事務局から国立市のごみの現状と課題について説明した。

【北委員】国立市が目指すトップランナーとは、どの項目をどのように達成することを意味するのか教えてください。例えば、総ごみ量だけで判断されるのか、他にもあるのか教えてください。また、現状の多摩地域のトップランナーの特色を教えてください。

【山谷会長】トップランナーについて、様々な指標がありますが、家庭系ごみの排出原単位を一番小さくすることを念頭に置いています。しかし、事業系ごみも含めた排出原単位を小さくすることも大切と考えられるため、様々な方面でトップランナーになることを目指していると考えていただいて良いかと思います。

家庭系ごみ排出原単位について、多摩地域で一番小さいのは府中市です。特色は、2010年の家庭ごみの有料化に伴い、誰でもがいつでも捨てられるダストボックス方式から戸別収集に切り替えたことです。家庭ごみ処理袋の有料化による価格効果に加え、自分が排出したごみは自宅の前に出すようになり、意識改革効果のごみ量の削減に大きな効果があったのではないかと思います。

家庭系、事業系、資源物、集団回収まで含めた環境省の取りまとめによると、多摩地域の小金井市がここ数年トップランナーでした。直近の令和2年のデータでは、静岡県掛川市がトップとなっています。

小金井市は、2年程前に事業系ごみの搬入先を寄居町から日野市の清掃工場に変更したことで、ごみ量に反映されるようになり、トップではなくなったのではないかと思います。

掛川市は、剪定枝を園芸業者に直接市民が持ち込む仕組みがあります。その園芸業者に市が補助金を提供する形で民間企業を活用しています。剪定枝を分別収集して、そして園芸業者のところへ運搬するコストを省いています。また同時に、市のごみとしてカウントされることを排除できるメリットがあります。また、集団回収については、市況の悪化等で売却単価が決められた水準を下回ったときに奨励金を交付する形にしたことで、環境省の基準の集団回収によるごみ量に含まれなくなるのみならず、行政のごみ処理業務のスリム化をしました。これは非常に面白いやり方だと思います。自治会組織が非常に強い地域だからできたことではないかと思います。

静岡県の特徴として、行政が古紙を回収していないことがあります。静岡県の自治体は、浜松市を含めて、古紙を回収している自治体が少ないです。スーパーや大手のドラッグストア等には、広い駐車場があり、そこにコンテナを設置し、消費者が買い物に来たついでに新聞、雑誌、段ボールと分別して排出していく形です。近隣に製紙メーカーが多くある静岡県は、回収拠点を設けて企業自らが古紙回収業者に依頼しているため、市民1人あたりのごみ処理経費が低いです。

【内海委員】国立市でも積極的に食品ロス問題に取り組んでほしいと思います。

また、以前に小学校の不用品が欲しい人が、引き取れなかったという話を聞いたことがあります。そういった家庭から不用品を交換できるような場所を、市で設けていただけるとありがたいと思います。

【山谷会長】食品ロスについて、国立市が行っている施策を教えてください。

【事務局】令和2年度に環境省の支援を受け、食品ロス実態調査を行いました。国立市を4つの地区に分けて調査しました。調査の結果、可燃ごみの中のおよそ3割が食品ロスであることが分かりました。今後も課題として取り組んでいく必要があると考えております。

今年度は、市単独で食品ロス実態調査を実施したいと考えております。例年4回程度実施している

可燃ごみや不燃ごみの組成分析のうち、1回は食品ロス調査に当てるといふ調整を検討しています。食品ロスの実態を把握したうえで、どのような対策を行うか考えていきたいと思ひます。

現状実施している施策として、食べきりレシピや食べ残しを減らすため小盛メニューの提供に協力していただいているお店を市のホームページで紹介しています。現在は1店舗にとどまっておりますので、さらに広げていきたいと考えております。

また、昨年度はごみ量の多い事業者を対象に、どのような廃棄物が排出され、どのように処理しているかなどの実態調査を行いました。今後も継続することで、更なる食品ロス削減やごみの削減ができる対策を検討していければと考えております。

あと、昨年度はフードドライブ活動を3回実施し、市民から、賞味期限や消費期限が切れておらず、まだ食べられるが使う予定がない食品を多く寄付していただきました。頂いた食品は市内に10箇所ほどあるこども食堂、福祉関係施設や福祉部署へお届けしました。

【山谷会長】 生ごみの堆肥化等の施策についても教えてください。

【事務局】 国立市では、ミニ・キエーロという生ごみ処理器を、モニター講習会に参加し、モニターになっていただける方に1台無料で配布しています。ミニ・キエーロはプランターを改良し、土に生ごみを埋めると自然の力で分解され、生ごみが無くなる体験ができるものです。

また、生ごみの堆肥化については堆肥化容器を購入された方に、その購入費用の一部を助成しています。

【山谷会長】 内海委員の不用品交換会の取組のご意見についてはいかがですか。

【事務局】 不用品の交換ができるような場を市で設けることは出来ないかというご意見をいただきました。例年は環境フェスタくにたちというイベント内で、フリーマーケットを実施していたところですが、ここ2年ほどはイベントが中止となっていました。そのため、場を設けられていませんでした。

今年度は環境フェスタくにたちを開催し、フリーマーケットも実施する方向で調整しております。

【山岸委員】 今まで大学通りで実施されていた0円マーケットは、今は実施していないのでしょうか。

【事務局】 ごみ減量課としては実施していません。大学通りの緑地帯や、矢川上公園などで市民の皆さまや地域の方たちが、そのような取組みをされていたかと思ひます。

【北村委員】 商工会女性部は、バザー、天下市、環境フェスタや食品の交換会等に参加しています。様々なイベントに参加する中で、要らない洋服や引き出物等の頂き物がたくさん集まることに驚きました。そこで集まった物は、ごみとなる前に必要な方へお渡ししています。有料でお渡ししても皆さまは本当に喜んでくれます。私は旭通りの商店会に所属していますが、様々なお店で要らなくなった食品等を集めて、NPO法人等に寄付する食品の交換会をやっています。たくさん食品が集まります。市でも商店会等と協力し、様々なお店の不用品や食品を集めて必要な方に寄付をするような取組をしてほしいと思ひます。

【山岸委員】 6月末頃に、こども家庭支援センターによる不用品交換会を広場で実施するというお知らせが届いたことがあります。不用品を出せる場があると良いなと思ひました。

先日、国立旧駅舎にて、くにたちコンポストまつりというものが実施されていましたが、ごみ減量課との関係はあるのでしょうか。

【事務局】 実施団体より、国立市からの後援を頂きたいとご相談がありました。団体の取組内容について、コンポストを広めていきたいという趣旨であるため、後援をすることとなりました。

【山岸委員】 雨が降っていたため、くにたちコンポストまつりには行けませんでした。自分の堆肥を持ち寄れば、堆肥の状態を見てくれるような時間があつたようです。生ごみの堆肥化に取り組む上

での成功事例や失敗事例を共有できるような場があると良いなと思いました。

【北委員】国立市内において、ミニ・キエーロを含む生ごみの堆肥化に取り組まれている世帯数を把握することで、今後の新しい対策等を検討しやすくなるかと思います。現状、このような統計は取っていますか。

【事務局】ミニ・キエーロに関して、モニター講習会での無料配布台数および購入台数を把握しています。現状は1,200台超えた程度です。また、生ごみの堆肥化処理容器の助成件数も把握しています。助成申請をされずにご自宅で利用している件数等の市が関与できていない件数は把握できていない為、今後検討していけたらと思います。

【山谷会長】アンケート調査を大規模にやるしかないですかね。

【北委員】SNSを活用する等、時代に合った方法が出来れば良いと思います。

【田中委員】くにたちのリサイクルを考える会では、今年は大学通りの緑地帯でガレージセールを2年ぶりに実施しました。次回は秋頃に実施する計画で、まちの振興課が管轄しています。もっと宣伝が出来れば良いなと思います。

【山崎副会長】市の課題としてまだまだ情報発信が弱いと思います。ひょっとしたら今は、ワクチンの関係で、国立市のLINE登録している方が非常に多いのではないかと思います。LINEを使った情報発信というのがうまく活用できれば、ガレージセールやコンポスト等の情報を多くの方に発信できるのではないかと思います。

また、市が情報発信するだけでなく、市民の方も発信に関われるような仕組みを引き続き検討してほしいです。

【山谷会長】リサイクルプラザやリサイクル会館のようなリユース品の常設展示ができる施設があると良いと思います。施設にて、廃食用油の回収等の取り組みを行うことで、環境教育の場の提供にも資すると思います。国立市の場合、現状このような施設が無いです。

【山崎副会長】そのような施設は、市の職員が常駐する必要がある等の人手の問題が出てくることが考えられます。

【山谷会長】NPO法人や民間企業の活用をすれば良いと思います。

【山崎副会長】市内の大学生にお願いしても良いと思います。

【北村委員】イベントを実施する際、商店会でもよく学生に助けてもらうことがあります。市内の大学とうまく連携できれば、様々なことに活用できると思います。

ごみゼロ運動について、商店街の清掃を継続することで、数年前に比べてごみが少なくなったように感じます。まちをきれいにしたいという皆の意識が向上した気がします。

10. その他

(1) 日程について

第2回は令和4年8月8日(月曜日)14時から行うこととし、第3回は令和4年8月31日(水曜日)14時から行うこととした。なお、第3回については施設見学となる可能性があることを共有した。

— 了 —